



いま、新しい相模原市にみどりのネットワークが広がりはじめています。

の協力や支援を得ることで新たな活動が展開できればと思っています。

多岐に渡るさまざまな活動

会員は現在約140名、10代から80代まで幅広い年代の人が参加し、高木道正山河畔林、古淵鶴野森公園、境川森野緑地、古淵一丁目市民緑地、橋本河畔林の5ヶ所を拠点に活動しています。

ここに生育するレッドアゲツ、絶滅危惧種植物たちは、早春、葉を落とし、状態の落葉樹林の林床で光合成を行い4月頃に花を咲かせ種を作ると若葉の頃には地上から姿を消して、次の春を待つというサイクルの春植物がほとんど。光合成をさせるためには、林の中にまで十分に光が届かなくてはなりません。そのためアズマネザサやアオキ、シロネなどの間伐や下刈りをして生態系を回復させるための植生管理をしています。また、昨年は、境川上下流域の自然」というパンフレットを作成して境川の魅力を紹介したり、昆虫や鳥、魚などの生き物観察会、小中学生の総合学習の講師として子どもたちに自然環境の素晴らしさを伝える活動などもしています。

このみどりは絶対に守らなければ

もつづく春本音、境川の水辺にはたくさん魚や鳥や昆虫たちが、緑地には色とりどりの植物たちが、魅力的な表情を見せてくれるようになっています。川沿いに長く伸びる自転車、歩行者専用道路にも散歩やジョギングする人たちの姿が増えるのではないのでしょうか。相模原市民約70万人の多くは市街地に住んでいます。そういう意味でも市街地の「みどり」を大切にしなければいけない。子どもたちが自然の美しさや生き物の尊さにふれながら育っていく環境を絶対的に守っていかなくてはならないと思うのです。そのためにもできる限りこの活動をずっと続けていきたいと思います。

相模原市森づくりパートナーシップ協定 市内の貴重な緑地を大切に守り継承していくために、市が維持管理方針を定めた緑地について市民活動団体と相模原市がルールを協議して協定を結び、みどりの協会が支援するなどのパートナーシップによる森づくり。

【市の花】アジサイ拡大中!

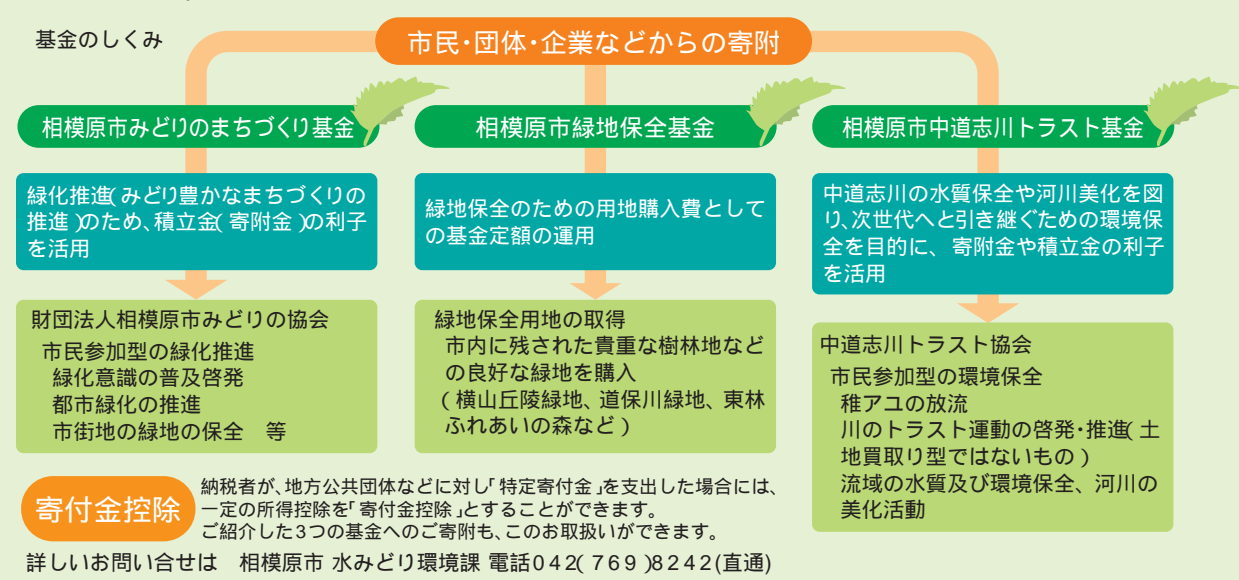
津久井地域との合併も整い、新相模原市の「市の花」もアジサイに統一されました。みどりの協会は、「市の花」の普及を目的にアジサイの展示や講演会・挿し木の実習講座の企画、市民団体等が行う植樹活動を支援しています。平成19年度は、城山町内の広陵小学校自然観察林、津久井町内の金丸緑地子ども広場での植樹にアジサイ苗を提供しています。今後「市の花」アジサイの普及啓発に努めてまいります。



津久井町地域自治体 金丸緑地子ども広場 金丸ミドリ会の皆さん

水とみどりを大切に 相模原市 みどりのまちづくり基金・緑地保全基金・中道志川トラスト基金のご紹介

相模原市は、津久井地区との合併により水とみどりがより身近になりました。水は、市内に川がいくつも流れ、また県民の水がめや観光スポットでもある湖があり、みどりは市内に広大な面積を有する木もれびの森を始め、津久井の山々があります。これらを次の世代へ継承していくために、市では昭和59年「相模原市みどりのまちづくり基金」及び「相模原市緑地保全基金」を、平成18年3月には旧津久井町との合併により「相模原市中道志川トラスト基金」を引き継ぎ、計3つの基金を設置しています。広く市民や団体、企業の皆様からのご寄附をお預かりし、それぞれの基金に応じて原資(寄附金そのもの)や果実(利子)を生かして役立てています。



みどりと環境を守るため たくさんの市民団体が活動しています。

身近な「みどり」は、都市で暮らすわたしたちの生活に潤いを与えてくれるとともに、そこに生きる動植物達の生態系も育てています。次の世代の子供たちに、このかけがえのない宝物を残すために、市内では様々な市民団体が活動しています。あなたもその中のひとりとして、ぜひ参加してみませんか。

1 NPO法人 ふじの森のがでんセンター

代表者 加藤久雄さん
会員数 41名
連絡先 090-5191-3020
活動日 各部会ごとに2回
程度/月
発足年 平成4年

神奈川と山梨との県境、牧野地区を中心に藤野町内で幅広く活動しています。里山や山地にある荒廃した林や農地の有効利用、枝打ち・間伐等の森林整備による環境保全、地域活性化を目的に会員が力をあわせて頑張っています。この土地柄だからこそまちづくりを追い求め、市民農園の運営や炭焼き活動、ホタルの里づくり、しいたけ栽培体験講習等、さまざまな活動を行っています。
URL <http://garuden.at.webyr.info/>

2 ForestNova

代表者 滝澤康至さん
会員数 11名
連絡先 090-5342-1981
活動日 2回/月
発足年 平成18年

私たち「ForestNova」(通称もりのば)は、複数の大学から環境問題、森林問題に興味ある学生が集まる「学生連合」です。相模湖町内の森を拠点に、『森と人の共創共生があたりまえになる社会を目指す』という合言葉のもと、学生だからこそできる森林再生・保全を目指して森林整備活動を実践しています。一緒に若者の力で森林問題を解決しましょう!

3 NPO法人 緑のダム北相模

代表者 永井宏一さん
会員数 70名
連絡先 03-3411-1636
活動日 1回/月(第3日曜日)
発足年 平成8年

「環境(森林)破壊という負の遺産を子孫に残してはならない」の理念のもと、相模湖町内の森を拠点に森林整備、緑のダム林間学校などの活動をしています。特に「若林・嵐山の森」は、2005年10月に市民活動団体が管理する森林としては世界的にも珍しい「FSC(国際認証機関森林管理協議会)認証林」となりました。これからもFSCのガイドラインに従いながら活動を継続し、新しい森林再生事業の創出を目指します。
URL <http://www.midorinodam.jp/>

市立相模原麻溝公園・市立相模原北公園 公園ボランティアも活躍中!

相模原クレマチスの会



麻溝公園第4駐車場のクレマチスの手入れを中心に、同公園で毎年5月に開催されるクレマチスフェアでの展示会やクレマチスに関する園芸相談、クレマチス講習会のアシスタント等を行っています。また、自宅で挿し木して増やした苗を会員同士で交換する「苗の交換会」や、独自に専門家をお招きしての講演会の開催なども欠かせないイベントの一つです。ぜひホームページにもアクセスを!
URL <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~sagamiclema/>

あじさいボランティア



麻溝公園、北公園のアジサイの管理作業に携わるほか、市役所から通りのアジサイの剪定も行っています。また、毎年6月に両公園で開催されるアジサイフェアでは、アジサイに関する園芸相談や、園内のアジサイを紹介して巡るアジサイガイドを実施し、好評を得ています。今後は地域の広がりを意識し、津久井方面で開催される「アジサイ講演会・講習会」に携わるなどの新たな展開を図りつつ、「市の花」アジサイを広く普及していきたいと考えています。

樹木の探偵団



麻溝公園、北公園の樹木への樹名板の取り付け、樹の観察・調査などの活動を行っています。五感(視、聴、触、味、嗅)を使って樹の特長や仕組みの不思議を発見する度、驚きと感動を覚え、感性を磨く良い場となっています。公園は樹木のデパートです。多くの種類が見て触れて楽しめ、四季を通して変化する葉・花・実などそれぞれ特長があり、観察するほど興味が湧いてきます。自然とふれあう中で「気力・知力・体力」をもとに樹木に関心をもちながら、地道な活動を積み重ねています。

相模原麻溝公園花のボランティア



「麻溝公園の草花を市民の手で愛情をもって守り育てていく」をコンセプトに花好きが集い、時には勉強会を行いながら、管理作業と座学で花や植物に対する知識を深めています。現在、園内で活動しているのは2期生ですが、卒業した1期生も仲間同士で「花街道」というグループをつくり、後進ボランティアの応援等の活動を続けています。また、麻溝公園に隣接する横浜水道みち緑道にチューリップ等の花を植える活動にも挑戦しているところです。

相模原北公園花のボランティア



アジサイで有名な北公園をフィールドに、アジサイやバラ、ハーブの手入れを行っています。季節の移ろいを体感しつつ、おしゃべりを楽しみながら、剪定や花ガラ摘みをはじめ、施肥や草むしりの管理作業を行っています。来園者からの労いの声はもちろん、作業後はメンバー全員で一つの事を成し遂げた充実感と達成感が広がり、心も体も元気にしてくれます。作業をしている私達を見かけたら、是非声を掛けてください。

各団体からのお知らせ 会員募集中!

各団体は現在会員募集中です。みどりと環境を守る多彩な取り組みに、あなたも参加してください!!
詳しくは各団体に直接お問い合わせいただくか、みどりの協会 042-777-2860 までお電話ください。

15 「小松・城北」里山をまもる会

代表者 樋口庄太郎さん
会員数 70名
連絡先 042-782-2858
活動日 8~10回/年
発足年 平成16年

小松・城北地区は、以前よりホタルの保護活動やアジサイの植樹、休耕地を活用したコスモス園やカタクリ園の開園など、地域が一体となって取り組んできました。県の里山保全事業モデル地区の指定を機に会を発足し、ワークショップにより策定した活動計画に基づいて古道の整備、棚田の復元、金刀比羅参道の整備等の里山保全活動を行うとともに、地元育成会による小松川の浄化活動や小学生による生き物調査への支援なども積極的に進めています。里山が多くなる来訪者と地域住民との交流の場となることを願っています。

14 NPO法人 境川の斜面緑地を守る会

代表者 太田浄子さん
会員数 140名
連絡先 042-743-8080
活動日 市内外5か所の活動地でそれぞれ1回/月
発足年 平成7年

境川斜面緑地は、その昔境川が作り出した北向き斜面にある緑地です。本会は、春植物豊かな昔の境川北斜面の植生を復元し、豊かな動植物を持つ生態系を回復させるために植生管理を行っています。また、落ち葉かき体験、タケノコ堀り、川の生き物探検、野鳥観察会などを通じて広く市民へ自然環境保全の普及啓発も行っています。お気軽にご参加ください。
URL <http://homepage3.nifty.com/sakaigawa/>

13 NPO法人 相模原こもれび

代表者 佐藤保さん
会員数 64名
連絡先 090-4629-4843
活動日 2回/月
発足年 平成15年

木もれびの森を拠点に、間伐や下草刈りなどの森林保全活動を行っています。また、活動区域内の植生調査・記録や、間伐材を利用したりサイクル製品づくり、ジュニアボランティアの育成など、都市部に残された雑木林の重要性を啓蒙する活動にも積極的に取り組んでいます。
URL <http://komorebi.bine.jp/>

12 大野台みどりを守る会

代表者 大津熊太郎さん
会員数 30名
連絡先 042-714-0395
活動日 1回/月
発足年 平成10年

木もれびの森内にある相模原中央緑地を拠点に、間伐や下草刈り、落ち葉かきなどの森林保全活動を行っています。特に散策路の整備・新設に力を注いでおり、活動区域の散策路脇の所々には植物にちなんだ万葉集の和歌を書いた看板を設置しています。相模原市とのパートナーシップ協定に基づく活動も約2年が経過する中、作業活動だけでなく、環境学習の実施などでも地域に貢献しています。

9 10 11

各3団体の皆さんは、市内に特定の活動拠点を設けず、市内外に渡り様々な活動を行っています。

11 さがみはろ緑の風

代表者 西田和子さん
会員数 60名
連絡先 042-743-4570
活動日 原則1回/月(不定期)
発足年 平成18年

自然保護は自然を知る、理解することから始まる。自然観察会を通して理解を増やすことを目標に活動しています。公園などの観察会を一般対象に、学校施設を介して将来を担う子どもたちに、自然への目線を持ってもらえるよう願っています。研修観察会を重ねながら会員の力をつけている、自然観察指導員の連絡会です。

10 NPO法人 みどりのお医者さん

代表者 金原正道さん
会員数 15名
連絡先 042-750-2239
活動日 2回以上/月
発足年 平成18年

樹木医の知識・経験や技術を活用して、市民や関係団体と連携しながら地域の貴重な自然材である巨樹・樹林・緑地等の保全活動を行っています。また、身近なみどりの保全に関する普及啓発活動などを実践しています。近年では、相模原麻溝公園で開催される公園フェアにおいて「庭づくり相談」「樹木相談」子ども樹木博士に挑戦!などのプログラムを行い好評を得ています。

6 屋根のない博物館

代表者 保坂健次さん
連絡先 042-782-8228
活動日 2回/月
発足年 平成6年

城山町内のさがみ縦貫道建設計画に日本一のウラジロガシがあることを知り、国等との調整に努めた結果、伐採の回避と保全を実現しました。前身の「城山ホタルの会」では、城山町内の小松川流域を中心にホタルの保全活動を行ってきました。現在は主に相模川流域に自生しているカワラノギクの保全活動や、自然観察会等を企画し環境保全や文化財保護意識の普及啓発活動を行っています。
URL <http://park19.wakwak.com/~hotaru/>

4 NPO法人 里山津久井をまもる会

代表者 安川源通さん
会員数 28名
連絡先 042-784-7847
活動日 2~4回/月
発足年 平成17年

住民、企業、行政とのパートナーシップの形成に努めながら、農業体験や里山市民交流事業を通じて里山の自然保護とその大切さを広める活動を実践しています。近年では子どもたちが環境体験のできる場所をつくりたいと、山林を借りてツツジの森の復活も進めています。多様なグループが横のつながりを強め、地域をより良いものにしていけるように、今後も活動を継続していきます。

5 金丸モドリ会

代表者 川原潤一郎さん
会員数 54名
連絡先 042-784-2424
活動日 2回/月
発足年 昭和57年

津久井町根小屋地域に約8haにわたって広がる「金丸斜面緑地」の緑地保全活動や散策路整備を行っています。平成10年に旧津久井町と自治会が協議して策定された「金丸斜面緑地活用計画」のもと、枝打ちや間伐等の作業だけでなく、近年は子ども会との共催で「小学校卒業記念植樹」を行い、子どもたちの緑を愛む心を育むきっかけづくりにも取り組んでいます。
URL <http://kanamaru.m78.com/kanamaru/midorikai/>

7 鳩川・縄文の谷戸の会

代表者 倉橋満知子さん
会員数 30名
連絡先 046-253-5899
活動日 2回/月
発足年 平成11年

鳩川沿い約700mに渡って広がる谷戸の保全を目指し、谷戸田を再生する活動を行っています。月2回の定例作業に加え、田植えや刈り入れ、収穫祭、ホタルの鑑賞会等のイベントを実施しています。また、桂川・相模川流域協議会の講座や高校生の体験教室を引き受けるなど、谷戸の貴重な自然環境の保全に対する意識の普及啓発活動にも力を入れています。
URL <http://www.geocities.jp/hatogawajomom/>

8 東林ふれあいの森を愛する会

代表者 宇賀地謙介さん
会員数 32名
連絡先 042-747-3151
活動日 1回/月
発足年 平成13年

「東林ふれあいの森」は、相模原と大和にまたがる樹林地「つるま自然の森」の相模原市側2.2ha、クヌギやコナラの広葉樹の森です。ここで動植物の生態に配慮しつつ、保全作業や情報発信、近隣小学校への学習支援などを行っています。これからが春の山野草の季節。観察指導ができる方を募集中です。

9 NPO法人 水源の森林づくり推進の会

代表者 渡部一男さん
会員数 120名
連絡先 042-780-7824
活動日 1回/月
発足年 平成14年

景観整備事業として里山や屋敷林の伐採やその実技指導、炭焼き事業として炭焼き窯をつくり炭焼等の講座の開催とリサイクルに関する啓発活動、浄化に関する事業として河川の水質浄化や山の土壌改良のための木炭の使い方指導等を行い、環境の保全を図っています。関係官庁や青年会議所、警察署等からの依頼に応じ、講演会や不法投棄の撤去作業等に尽力し、成果を挙げています。